

第45回構造力学コロキウム

「地盤と建物の相互作用に関する新しい話題」

地盤と建物の相互作用の問題は、地震被害の解明において重要な課題であり、理論的研究を推進することと同時に観測や実験による検証を実施することが重要です。本コロキウムでは、構造力学的な側面から地盤と建物の動的相互作用問題の最近の話題について議論を行います。特に、話題提供者からは、専門技術者だけでなく、大学院学生や若手技術者にも十分理解できるように、基礎的な側面からわかりやすく解説していただきます。多くの大学院学生や若手技術者の参加を歓迎します。

〈主催〉 近畿支部構造力学部会

日 時 2008年3月15日(土) 13:30～17:00

会 場 京都大学桂キャンパスCクラスタC1棟1階192号室

(〒615-8540 京都市西京区京都大学桂, 京都市バスまたは京阪京都交通バス桂御陵前バス停より徒歩5分)

内 容 司会: 辻聖晃(京都大学)

1) 田村修次(京都大学)

「杭の基礎部に作用する土圧と側面摩擦力が杭応力に及ぼす影響」

2) 梶井健(関西大学)

「基礎構造の降伏による上部構造の地震応答抑制効果」

司会: 梶井健(関西大学)

3) 中村尚弘(竹中工務店技術研究所)

「地盤ばねに現れる振動数依存性の意味と解析方法」

4) 関崇夫(大林組技術研究所)

「遠心実験による基礎入力動評価」

参加費・資料代 2,000円

申込方法 E-mailまたはFAXで3月8日(土)までにお申し込み下さい。定員(60名)に達した場合、お断りの方のみ通知します。

申込み・問合せ 京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 辻 聖晃

FAX(075)383-3297 E-mail: mtsuji@archi.kyoto-u.ac.jp